

3分で納得！暮らしの中に学び在り\*

## フェルナンド・トーレスの今があるのは日本のおかげ！

2013/08/01

\* 本レポートは丸紅グループ広報誌『M-Spirit』及び同・広報サイト『MS+』に寄稿した内容です。  
その後の状況変化等の理由で一部加筆修正していることがあります。

世界的に有名なスペインのサッカー選手フェルナンド・トーレスがサッカーを始めたのは、日本のアニメがきっかけだったということをご存知でしょうか？トーレス選手が小さいころ、日本のアニメ「キャプテン翼」（スペインでは「オリベルとベンジ」）が子供たちの間でブームとなり、トーレスも大ファンだったとのこと。主人公オリベルのようなプレーヤーになりたいと、サッカーに熱を上げたと話しています。キャプテン翼に出会わなかったら、今日のトーレス選手の活躍はなかったわけです。

海外では他にも、ポケモン、ドラゴンボール、NARUTO など数多くの日本のアニメが人気を集めており、将来、一層広がりを見せる可能性を秘めています。政府は、こうしたアニメやゲーム、映画などのコンテンツ、さらにはファッション、食文化など、日本の魅力を海外に発信する「クールジャパン戦略」を推進しており、経済成長に結びつけたい考えです。

このクールジャパン戦略は、日本の成長戦略にとって大きな意味を持っています。直接的には、日本のコンテンツの海外展開や農産品の輸出拡大などが期待できますし、さらに日本へのファンを増やすことで、訪日外国人観光客の増加も見込まれます。また、日本の製品やサービスの認知度の向上・イメージアップにもつながり、国際競争力を増すことにもなるでしょう。つまり、クールジャパン戦略は、日本の魅力を海外に伝え「ジャパン・ブランド」をつくる広告のようなもので、その先に大きな経済波及効果が見込まれるのです。

先ごろ、2年連続で将棋の女流プロを破ったポーランドの女子大学生カロリーナ・ステチェンスカさんが話題になりましたが、将棋はNARUTOで知ったとのこと。こうして日本文化のファンが増えるのは喜ばしいことです。トーレス選手やステチェンスカさんのような個人一人ひとりの日本への想いが、総体としてジャパン・ブランドに結びついていくのでしょうか。

日本経済のためにも、日本のアニメにはどんどん海外進出してほしいと思いますが、海外では思わぬ事態に遭遇することがあります。バングラデシュではドラえもんが放送禁止になったそうで、その理由の一つは、「ドラえもんのひみつ道具にはごまかしがあり、のび太は勉強をサボるので子供の教育上良くない」というもの！？あまりにドラえもんとのび太が気の毒な話ですが、逆に言えば、日本のアニメが海外でも影響力が大きいからこそ起きたこと。ドラえもん、のび太くん、こんなことにはへこたれずに世界でがんばれ！

担当	シニア・エコノミスト 金子 哲哉	TEL: 03-3282-7681 E-mail: Kaneko-T@marubeni.com
住所	〒100-8088 東京都千代田区大手町1丁目4番2号 丸紅ビル12階 経済研究所	
WEB	<a href="http://www.marubeni.co.jp/research/index.html">http://www.marubeni.co.jp/research/index.html</a>	

### （注記）

- ・ 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- ・ 本資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- ・ 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。
- ・ 本資料に掲載している個々の文章、写真、イラストなど（以下「情報」といいます）は、当社の著作物であり、日本の著作権法及びベルヌ条約などの国際条約により、著作権の保護を受けています。個人の私的使用および引用など、著作権法により認められている場合を除き、本資料に掲載している情報を、著作権者に無断で、複製、頒布、改変、翻訳、翻案、公衆送信、送信可能化などすることは著作権法違反となります。